

## 巡る日々

近所の遺体安置所で考える  
今日はどれを持ち帰ろうか

祭壇に整然と並ぶ  
白く燃やせない棺

半額とシールを貼られた  
豚の骨つき死骸を手取る

泣き叫ぶ子供  
溜息をつく親  
笑いかける私

圧力鍋での葬儀  
程よく火が通った亡骸

庭に埋葬される骨  
柑橘類の残骸と共に眠る

かじかむ季節が終わる  
かゆみの季節が始まる

骨と骨の間から  
誇らしそうに顔を出す  
見慣れない新芽

桐島こより